

2025年度（2025年3月～2026年2月） 株主との対話の実施状況等

1. 対話の実施状況
2. 対話の主なテーマや株主の関心事項
3. 対話内容の経営陣へのフィードバック実施状況
4. 対話を踏まえた対応状況【取り入れた事項】

2026年4月28日
株式会社高島屋

1. 対話の実施状況（2025年度）

- ✓ 決算説明会の他、カンファレンスへの参加など経営による対話機会を拡大
- ✓ 既存株主とのSR面談を新たに実施

| | 回数 | 対話相手 (属性) | 対応者 | | | |
|-------------------------|------------|--------------------------|-----|-----|------|-------|
| | | | 社長 | 取締役 | 執行役員 | IR担当者 |
| 2024年度4Q・2025年度2Q 決算説明会 | 2 | アナリスト/ ファンドマネジャー | ○ | ○ | ○ | — |
| 1Q・3Q決算説明会 | 2 | | | ○ | ○ | |
| スモールミーティング | 10 | | ○ | ○ | ○ | — |
| 国内・海外 カンファレンス | 64 | 国内・海外 機関投資家 | — | ○ | ○ | ○ |
| 事業説明会（金融事業） | 1 | アナリスト/ ファンドマネジャー | | ○ | ○ | |
| 店舗見学会 | 2 | 海外投資家 | | | ○ | ○ |
| SR面談 | 10 | 国内機関投資家 | | ○ | ○ | |
| 個別IR取材 | 168 | 証券会社 国内・海外機関投資家 | — | — | — | ○ |
| 合計 | 259 | ※ 出席者（社）数に関わらず、開催回数をカウント | | | | |

■個別IR取材内訳

| | 2025年度 | | 2024年度 | |
|-----------|------------|------|------------|------|
| | 回数 | シェア% | 回数 | シェア% |
| 証券会社 | 32 | 19% | 40 | 20% |
| 国内：機関投資家 | 65 | 39% | 75 | 37% |
| 海外：機関投資家 | 71 | 42% | 86 | 43% |
| 合計 | 168 | | 201 | |

資本政策/キャッシュ・アロケーション

| | |
|---------------|--|
| CB | <ul style="list-style-type: none"> ・希薄化懸念があり、株価上昇の足かせとなっている ・買入消却に負債を活用したことで、今後のBSの方向性について注目 |
| 保有資産 | <ul style="list-style-type: none"> ・不動産等の含み益が注目される中、考え方、方針を示して欲しい |
| キャッシュ・アロケーション | <ul style="list-style-type: none"> ・次期中計も見据えた営業CFの配分方向性について ・負債活用は継続するか、フリーCFが増大した際の株主還元の考え方 |
| 財務KPI | <ul style="list-style-type: none"> ・キャッシュ・アロケーションに連動する財務KPI（ROE等優先すべき項目） |

成長投資

| | |
|-----------------|---|
| 商業開発 (国内・海外) | <ul style="list-style-type: none"> ・投資先行フェーズであることは理解したが、投資回収の絵姿が不明確 ・ベトナムで取り組んでいる、短期回収型事業の狙いが知りたい |
| 金融 | <ul style="list-style-type: none"> ・2031年度に向けた成長の根拠が見えない |

ガバナンス

| | |
|--------------|---|
| 取締役構成 | <ul style="list-style-type: none"> ・将来的には社外取締役半数を議決権行使基準としていく予定 |
| 指名・報酬 委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・社外取締役が過半数であることが望ましい ・現状の体制であれば、指名プロセスの開示が必要 |
| スキル バランス | <ul style="list-style-type: none"> ・今後百貨店以外を伸ばすのであれば、それに応じた体制が必要 ・スキルの多様性が不足 |

- ✓ 経営会議などを通じて、株主との対話状況や関心事項を報告・共有
- ✓ 株主の関心事項を踏まえた経営の方向性を議論

○取締役会

- ・年度のIR活動報告（2025年3月実施）
 - ：当年度の課題と次年度の対応方針を確認
- ・2024年度4Q後（6月）・2025年度2Q後（11月）
 - ：各決算後の株主の関心事を共有

○決算説明会の主旨・内容の検討

- ・4月の2024年度4Q、10月の2025年度2Q前に実施
- ・株主との対話を踏まえ、決算説明会で報告すべき内容を検討

○カンファレンス/面談報告

- ・国内・海外カンファレンス実施時は随時報告
- ・IR、SR面談のトピックスは定期的に経営共有

4. 対話を踏まえた対応状況【取り入れた内容】

P5

- ✓ 市場の関心が高まっている【成長投資】【資本政策(株主還元、不動産等)】については、重点的に取り入れ開示、SR面談を受け【ガバナンス】も開示

| 成長投資 | | 開示時期 |
|-----------------|---|----------|
| 全体 | 成長の3領域（次世代型SC、ベトナム、金融）における、2031年目標達成に向けた「事業の拡大領域」と各々の数値目標開示 | 2026年 4月 |
| 金融 | 事業説明会にて事業の全体概要、今後の成長等を総合的に開示 | 2026年 2月 |
| 資本政策（株主還元/保有資産） | | 開示時期 |
| 自社株式取得 | 150億円の自社株式取得（全株消却） | 2025年 6月 |
| | 2026年度自社株取得、ならびに次期中計期間中の総還元性向 | 2025年10月 |
| | 新株予約権付転換社債（CB）の買入消却 | 2026年 1月 |
| 配当 | 期末配当予想からの増配 | 2025年10月 |
| | 2026年度の配当予想（増配） | 2026年 4月 |
| 資産売却 | 不動産(リバーージュ品川)を売却 | 2025年 6月 |
| ガバナンス | | 開示時期 |
| 取締役構成 | 監査等委員会設置会社へ移行 | 2026年 4月 |
| 指名・報酬委員会 | | |